

来週の「売り物記事」はこれ



2019年10月4日号

毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

サンマ 異次元の不漁

夕刊特集ワイド 7日(月)



秋の味覚の代表格、サンマの異変が止まりません。北海道や三陸の代表的な漁港では水揚げが低調で、「半世紀ぶりの記録的不漁」だった2017年と同様か、それ以下の水準となるとの予測もあります。漁業者、水産加工業者だけでなく、外食業界にも影響が広がっていますが、この傾向はこの先も続くのでしょうか。

臨時国会論戦スタート

1面など 8日(火)から



臨時国会では7～9日、安倍晋三首相の所信表明演説に対する各党の代表質問が行われ、論戦が始まります。10～11日には衆院予算委員会もあります。自民党は国民投票法改正案を成立させ、憲法改正論議の進展を目指しており、与野党の攻防を詳報します。消費税率引き上げの是非、日米貿易協定の合意内容の検証なども論点となる見通しです。

知っていますか？ 着物の「右前・左前」

くらしナビ面 8日(火)



着物を前で合わせる時、正しいのは「右前」「左前」のどちらでしょう？ 正解は「右前」。では、右前では、どちらの衿が上にある？ 男女では違うの？ 洋服の場合は？ よく知らないと混乱してしまいそうな「右・左」の理解の仕方を、着付けのプロに聞きました。

論点「英語民間試験」の導入は？

オピニオン面 9日(水)

来年度からの大学入試改革の目玉として導入される予定の「英語民間試験」。しかし、実施については今なお賛否が分かれ、現場が混乱しています。文部科学省の計画通りの開始を支持する主に私立中高一貫校側と、「混乱と生徒の負担」から延期と制度見直しを求める主に国公立高校側。大学側も判断が分かれています。背景には単に試験の複雑さや採点の公正性だけでなく、受験生への負担を廻る教育環境の違いもあるようです。



がんステージ4からの眺め

くらしナビ面 9日(水)

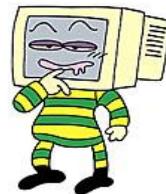
2008年に乳がんステージ4と告知され、1年の休職を経て治療しながら仕事を続ける記者が、随時掲載している連載です。進行度の最も高いステージ4でも、長く生きるがん患者は増えています。「ゴールまで自分らしく生きたい」と考えた時、そのために必要なものは何か。それは置かれた環境によっても異なるでしょう。ある1人暮らしの女性のケースを追いました。



企業に偽装、メール詐欺にご用心

くらしナビ面 10日(木)

毎日のように届くフィッシング(詐欺)メール。最近是一段と巧妙になり、有名企業になりすました本物そっくりなメールや、取引先や上司の名をかたり、通常のやりとりを装ってお金を振り込ませるビジネスメール詐欺など悪質なものも増えています。送信元や文面から詐欺メールを見分けるのも難しい状況です。注意するポイントを紹介します。



サッカーW杯アジア2次予選・モンゴル戦結果

運動面 11日(金)



サッカーの2022年ワールドカップ(W杯)カタール大会アジア2次予選F組の日本は10日、埼玉スタジアムでの第2戦でモンゴルと顔を合わせます。日本にとってはホームでの初戦。F組の初戦は9月10日、敵地でミャンマーと対戦して、日本は2-0で白星発進しました。今回の日本代表のメンバーは23人のうち、海外のクラブに所属する選手が過去最多の20人を占めています。2次予選は来年6月までの長丁場となります。ホームでしっかりと勝ち、弾みをつけたいところです。

「7年がかりの社会復帰」

Sストーリー 13日(日)



この病気について考えます。

土屋太鳳さんが患者を演じた映画「8年越しの花嫁」で、難病「抗NMDA受容体脳炎」が知られるようになりました。この病気は、激しいけいれんに見舞われたり、社会復帰しても記憶障害などに悩んだりする患者が多いとされています。入院とリハビリに20代の7年超を費やし、今春に東京出入国在留管理局に就職した女性の姿を追いながら、



※ 都合によっては掲載日や内容を変更することがあります。